

第2回男女共同参画懇談会の開催報告

日本生活協同組合連合会

会議名：第2回男女共同参画懇談会

日時：2009年11月13日（金） 11:00～15:30

会場：東京・四ツ谷 主婦会館プラザエフ 9階「スズラン」

【プログラム】

- 11:00 開会挨拶 男女共同参画懇談会代表 田中ひとみ氏
(さいたまコープ理事、日本生協連理事)
- 11:05～12:15 講演「スマイル、誰もが大事にされ笑顔でしあわせに生きられる世界をめざして」
講師：NPO法人JEN 理事・事務局長 木山啓子氏
- 12:15～13:00 昼食・休憩
- 13:00～13:50 講演「地域における男女共同参画促進に向けて」
講師：内閣府男女共同参画局推進課 課長補佐 大内あづさ氏
- 13:50～14:00 休憩
- 14:00～15:25 パネルディスカッション「地域のつながりの中での生協の男女共同参画推進と女性リーダーの力の発揮」
パネリスト：大内あづさ氏（内閣府男女共同参画局推進課 課長補佐）
山田友美氏（静岡市女性会館 スタッフ）
新井ちとせ氏（さいたまコープ 理事）
六角 薫氏（パルシステム神奈川ゆめコープ 常任理事）
コーディネーター：上原正博氏（男女共同参画懇談会副代表、コープとうきょう理事長、日本生協連常任理事）
- 16:25～16:30 閉会挨拶
- 16:30 閉会

日本生協連は2009年11月13日（金）「プラザエフ」において、「地域のつながりの中での生協の男女共同参画推進に向けて」をテーマに 第2回男女共同参画懇談会を開催いたしました。生協から組合員・役職員73名が参加しました。今回はじめて内閣府や男女共同参画推進連携会議との共催の形で、協力をいただき日本生協連が一緒に加わって開催することができたことを大変嬉しく思っています。

生協では地域ともつながりながら、男女共同参画、環境、平和、福祉・助け合い、子育て支援、国際交流・協力活動などさまざまに取り組んでいます。今回は地域とつながることによってもっと生協が男女共同参画推進に参画していけないか、またその中で、女性の組合員リーダーや理事がリーダーシップを発揮していくことの大切さについて考えました。

参加者からは「JENの、世界中の厳しい地域に入り心のケアを大切にしながらその地域の自立を支える活動に心が打たれました」「内閣府から就業・家庭での男女共同参画の現状や地域での取り組み事例がわかりやすく説明され大変参考になりました」「パネルディスカッションでは地域の中での女性リーダーの活躍が生き生きと語られこれからの生協の役割の重要さが伝わってきました」などの感想が多数寄せられました。以下、概要をご報告いたします。

NPO 法人 JEN(ジェン)理事・事務局長木山啓子氏からは多くの女性が活躍する「JEN」の、旧ユーゴスラビアやアフガニスタン、新潟県中越沖地震など世界各地での紛争や自然災害などにより厳しい状況にある人々への自立に向けた支援活動についてお話しいただきました。生協は国際交流活動や災害救済の募金活動なども行っていますが、生協の組合員リーダー（女性）にとって、また一人の市民としても、さまざまな地域の課題に関心を持ったり活動に参加していくことの大切さについて学びました。

内閣府男女共同参画局推進課課長補佐の大内あづさ氏からは、男女共同参画推進の取り組みが、従来の意識改革や知識習得を中心とする取り組みから、少しずつ子育て、防災、環境など、地域の身近なテーマに対して男女共同参画の視点を持って活動する事例が出てきており、課題解決型の実践活動を中心とする第二ステージと位置付けて取り組まれていることをお話しいただきました。

パネルディスカッションには大内課長補佐にも加わっていただき、生協以外から静岡市女性会館の女性スタッフの方にもパネリストをお願いしました。

山田氏からは、静岡市女性会館の男女共同参画推進の視点から、子育て中の母さん・お父さん対象にした「おはなしカフェ」の活動、大学生を対象にしたデートDVなど、学び・話すさまざまな企画を「市民に一番近い立場で本当のニーズを拾う」ことを大事にしながら作りたくさんの方に参加していただいている活動についてお話しいただきました。

生協からは、生協の商品、子育て、環境、福祉・助け合い活動、市民団体の活動への「市民活動応援活動」、組合員が生協の講座の講師を務める人材登録制度などについてお話しました。パネルディスカッションをとおして、生協の、地域と連携した活動、語り合える場づくり、地域や社会に再チャレンジができる人材育成のサポートなどのさまざまな活動が、生協の枠を超え社会の担い手育成につながっていること、生協の活動に男女共同参画の視点を入れることで新しい発見があり、くらしの視点を大事にする女性の社会的な参画を広げ、地域社会に貢献できることがこれからもたくさんあるのではないかと確認できました。

大内課長補佐からも「生協が大切な社会貢献の視点を持って活動していることをあらためて感じました。男女共同参画センターが近くにあったらぜひ手を取り合っ

て一緒に頑張っていきましょう」と述べていただきました。 以上